

保育等のニーズ調査

【就学前児童】

平成22年3月

千葉市

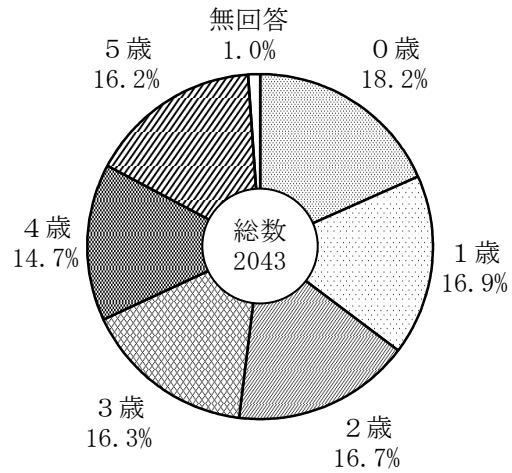
目次

1	基本属性について.....	1
2	親の就労状況について.....	4
3	保育サービスの利用について.....	13
4	育児休業制度の利用について.....	23
5	病児・病後児保育について.....	26
6	一時預かりについて.....	28
7	小学校入学以降の放課後の過ごし方について.....	30
8	ベビーシッターの利用について.....	31
9	ファミリーサポートセンターの利用について.....	33

1 基本属性について

(1) 子どもの年齢

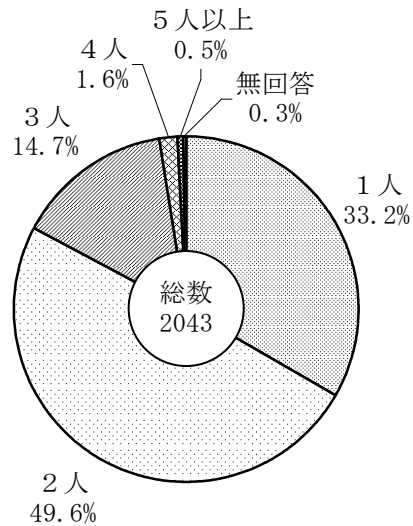
子どもの年齢については、「0歳」(18.2%)が最も多く、次いで「1歳」(16.9%)、「2歳」(16.7%)となっています。



(2) 子どもの人数

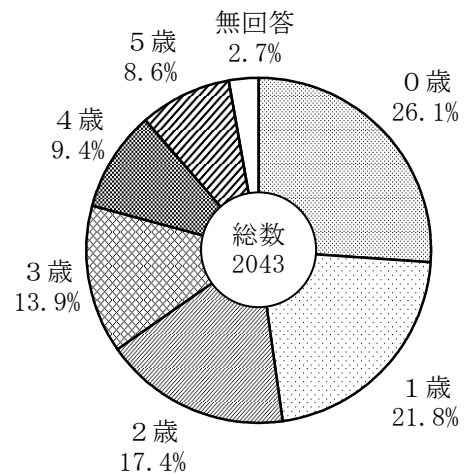
①子どもの人数

子どもの人数については、「2人」(49.6%)が最も多く、次いで「1人」(33.2%)、「3人」(14.7%)となっています。



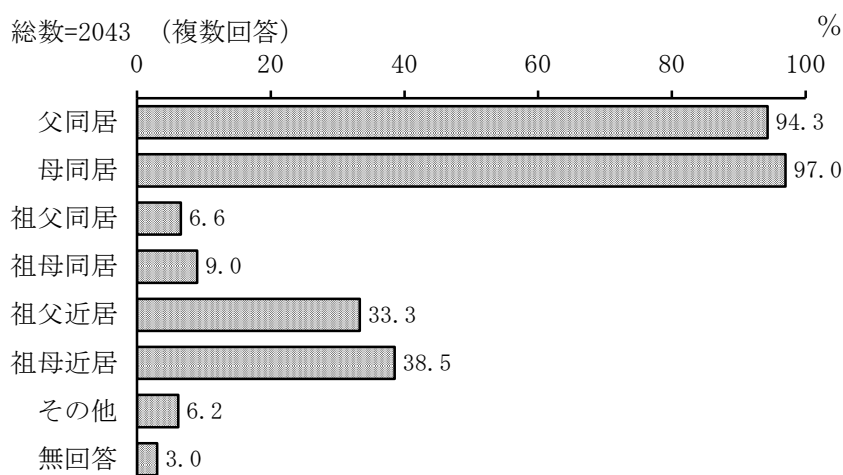
②末子の年齢

子どもが2人以上いる場合、末子の年齢については、「0歳」(26.1%)が最も多く、次いで「1歳」(21.8%)、「2歳」(17.4%)となっています。



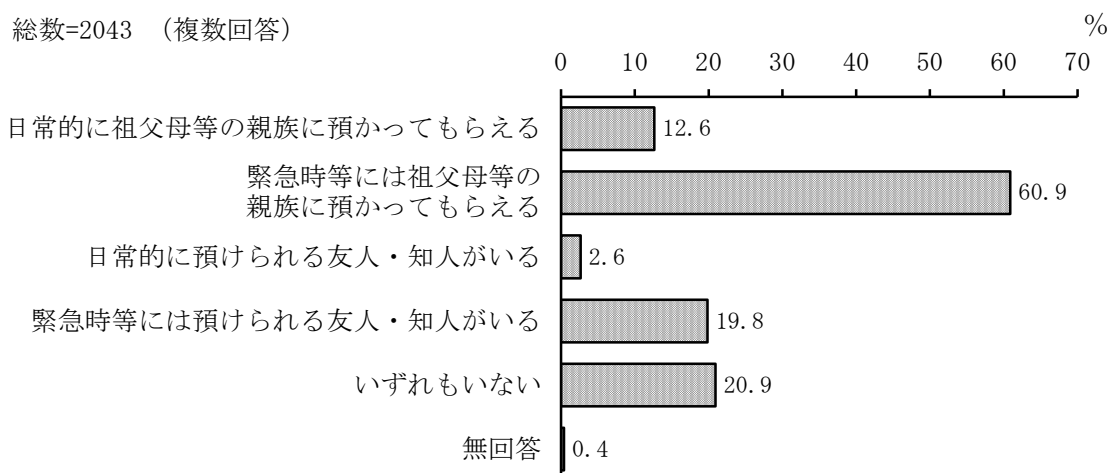
(3) 同居・近居の状況

子どもとの同居・近居の状況については、「母同居」(97.0%)、「父同居」(94.3%)、「祖母同居」(38.5%)、「祖父同居」(33.3%)等となっています。



(4) 子どもを預かってもらえる人の有無

日頃、子どもを預かってもらえる人はいるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(60.9%)が最も多く、次いで「いずれもない」(20.9%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」(19.8%)となっています。



子どもの年齢との関係で見ると、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」という回答は、年齢が上がるにつれて割合が多くなっています。

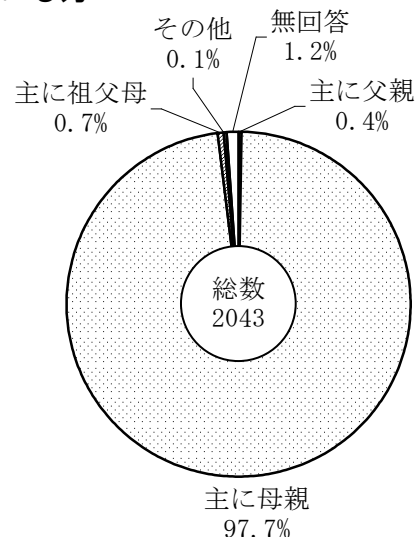
また、母親の就労状況との関係で見ると、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」という回答は、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまでに就労したことがない」では、フルタイムで就労している人より 10 ポイント以上多くなっています。

【子どもを預かってもらえる人の有無と子どもの年齢および母親の就労状況】

	全体	日常的に祖父母等に預かっている	緊急時には祖父母等の親族に預かっている	日常的に預けられる友人・知人がいる	緊急時には預けられる友人・知人がいる	いずれもない	無回答	
全体	2043 100.0	258 12.6	1244 60.9	54 2.6	405 19.8	428 20.9	8 0.4	
子どもの年齢	0歳	372 100.0	42 11.3	240 64.5	8 2.2	35 9.4	85 22.8	1 0.3
	1歳	346 100.0	38 11.0	221 63.9	3 0.9	45 13.0	77 22.3	3 0.9
	2歳	342 100.0	39 11.4	211 61.7	8 2.3	60 17.5	71 20.8	-
	3歳	332 100.0	48 14.5	203 61.1	12 3.6	62 18.7	68 20.5	2 0.6
	4歳	300 100.0	40 13.3	160 53.3	9 3.0	85 28.3	71 23.7	1 0.3
	5歳	330 100.0	43 13.0	197 59.7	13 3.9	114 34.5	54 16.4	-
	無回答	21 100.0	8 38.1	12 57.1	1 4.8	4 19.0	2 9.5	1 4.8
	母親の就労状況	2041 100.0	258 12.6	1244 61.0	54 2.6	405 19.8	428 21.0	6 0.3
就労している（フルタイム）	310 100.0	42 13.5	201 64.8	2 0.6	28 9.0	66 21.3	1 0.3	
就労している（育休・介護休業中）	84 100.0	7 8.3	53 63.1	2 2.4	8 9.5	21 25.0	-	
就労している（パートタイム、アルバイト等）	394 100.0	57 14.5	221 56.1	13 3.3	81 20.6	97 24.6	-	
以前は就労していたが、現在は就労していない	1131 100.0	132 11.7	698 61.7	33 2.9	263 23.3	217 19.2	3 0.3	
これまでに就労したことがない	84 100.0	14 16.7	51 60.7	-	17 20.2	18 21.4	-	
その他	15 100.0	3 20.0	9 60.0	-	4 26.7	3 20.0	-	
無回答	23 100.0	3 13.0	11 47.8	4 17.4	4 17.4	6 26.1	2 8.7	

(5) 子どもの身の回りの世話などを主にしている方

子どもの身の回りの世話などを主にしている方については、「主に母親」（97.7%）が最も多く、次いで「主に祖父母」（0.7%）、「主に父親」（0.4%）となっています。



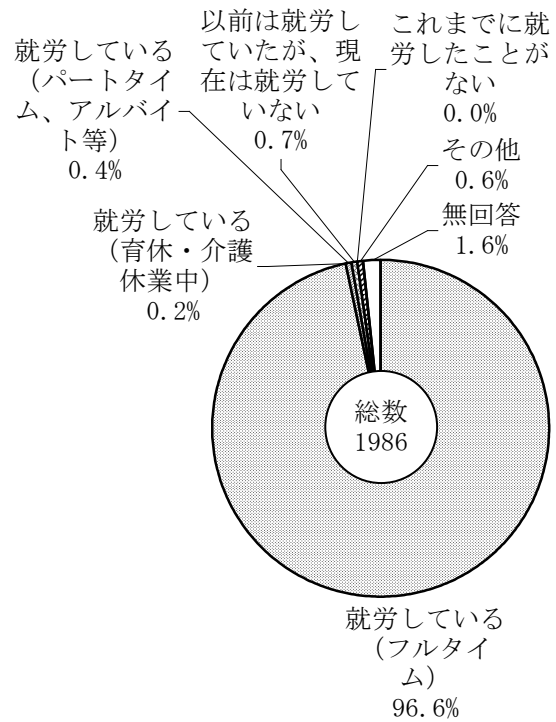
2 親の就労状況について

(1) 現在の就労状況

A 父親

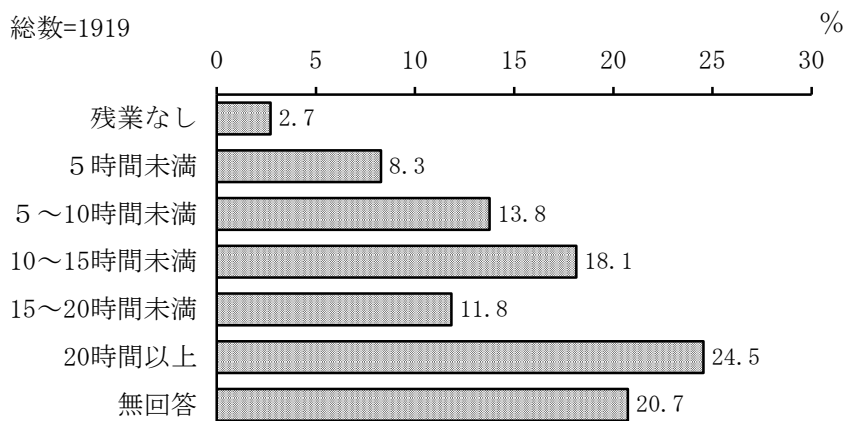
①父親の就労状況

現在の父親の就労状況については、「就労している(フルタイム)」(96.6%)がほとんどを占めています。



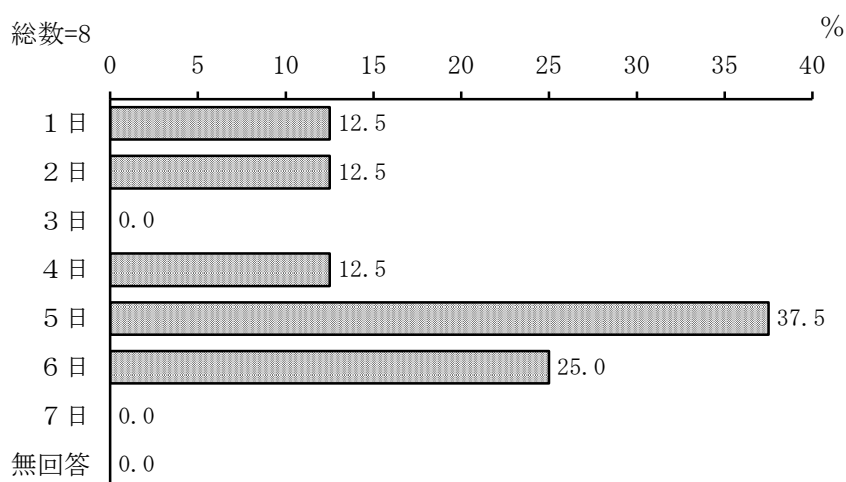
②フルタイムで就労している父親の残業時間

フルタイムで就労している父親の1週当たりの平均残業時間については、「20時間以上」(24.5%)が最も多く、次いで「10時間以上～15時間未満」(18.1%)、「5時間以上～10時間未満」(13.8%)となっています。



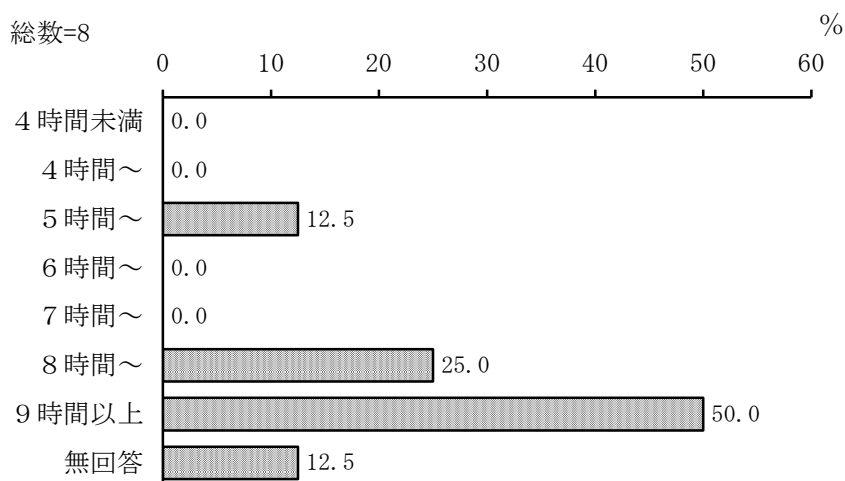
③パートタイム、アルバイト等で就労している父親の就労日数

パートタイム、アルバイト等で就労している父親の1週当たりの就労日数については、「5日」(37.5%)が最も多く、次いで「6日」(25.0%)が多くなっています。



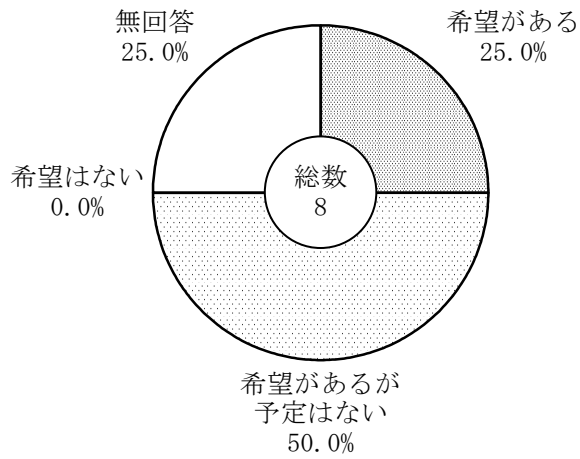
④パートタイム、アルバイト等で就労している父親の就労時間

パートタイム、アルバイト等で就労している父親の1日当たりの就労時間については、「9時間以上」(50.0%)が最も多く、次いで「8時間以上～9時間未満」(25.0%)となっています。



⑤パートタイム、アルバイト等で就労している父親の転換希望

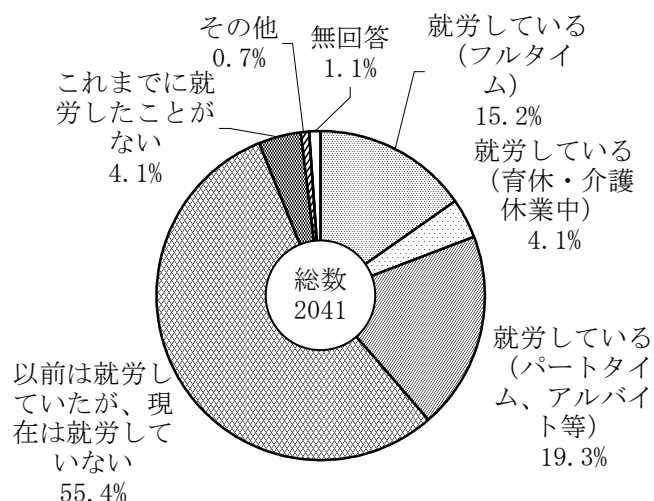
パートタイム、アルバイト等で就労している父親の就労日数を増やすことやフルタイムへの転換希望については、「希望があるが予定はない」(50.0%)が最も多く、次いで、「希望がある」(25.0%)となっています。



B 母親

①母親の就労状況

現在の母親の就労状況については、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(55.4%)が最も多く、次いで、「就労している(パートタイム、アルバイト等)」(19.3%)、「就労している(フルタイム)」(15.2%)となっています。



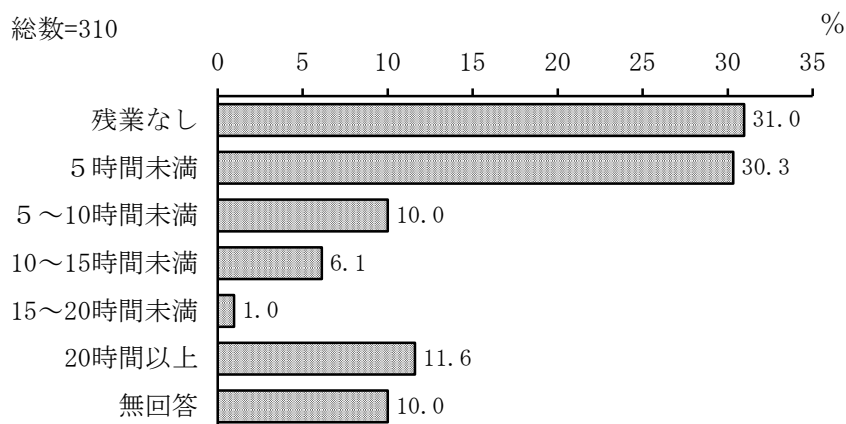
子どもの年齢との関係で見ると、「就労している(パートタイム、アルバイト等)」という回答は、年齢が上がるにつれて割合が多くなっています。逆に、「以前は就労していたが、現在は就労していない」という回答は、年齢が上がるにつれて割合が少なくなっています。

【母親の就労状況と子どもの年齢】

	全体	(就労している (パートタイム))	就労している(育 休・介護休業中)	(就労している (パートタイム、 アルバイト等))	以前は就労してい たが現在は就労し ていない	これまでに就労し たことがない	その他	無回答	
全体	2041 100.0	310 15.2	84 4.1	394 19.3	1131 55.4	84 4.1	15 0.7	23 1.1	
子どもの年齢	0歳	372 100.0	33 8.9	44 11.8	27 7.3	254 68.3	5 1.3	2 0.5	7 1.9
	1歳	346 100.0	59 17.1	10 2.9	46 13.3	211 61.0	14 4.0	2 0.6	4 1.2
	2歳	342 100.0	62 18.1	8 2.3	61 17.8	189 55.3	17 5.0	4 1.2	1 0.3
	3歳	331 100.0	54 16.3	12 3.6	73 22.1	177 53.5	11 3.3	1 0.3	3 0.9
	4歳	300 100.0	49 16.3	5 1.7	83 27.7	143 47.7	15 5.0	1 0.3	4 1.3
	5歳	330 100.0	47 14.2	5 1.5	100 30.3	150 45.5	20 6.1	5 1.5	3 0.9
	無回答	20 100.0	6 30.0	-	4 20.0	7 35.0	2 10.0	-	1 5.0

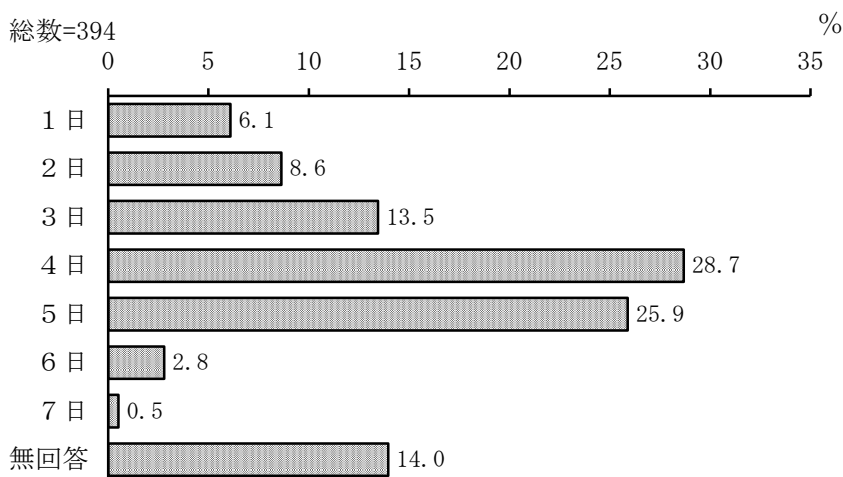
②フルタイムで就労している母親の残業時間

フルタイムで就労している母親の1週当たりの平均残業時間については、「残業なし」(31.0%)が最も多く、次いで「5時間未満」(30.3%)、「20時間以上」(11.6%)となっています。



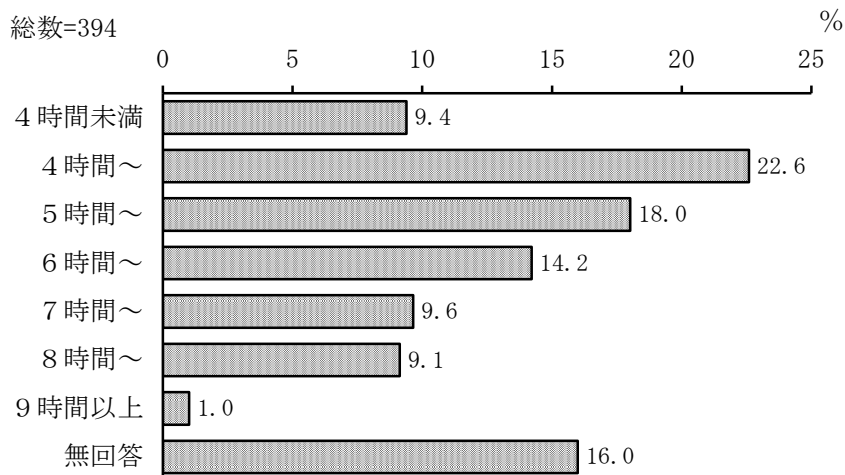
③パートタイム、アルバイト等で就労している母親の就労日数

パートタイム、アルバイト等で就労している母親の1週当たりの就労日数については、「4日」(28.7%)が最も多く、次いで「5日」(25.9%)、「3日」(13.5%)となっています。



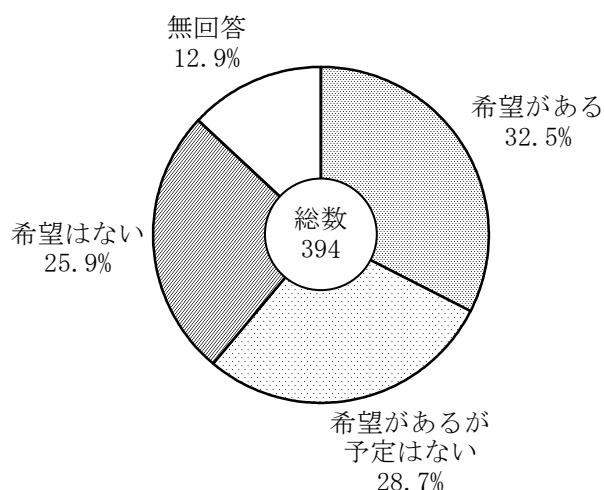
④パートタイム、アルバイト等で就労している母親の就労時間

パートタイム、アルバイト等で就労している母親の1日当たりの就労時間については、「4時間以上～5時間未満」(22.6%)が最も多く、「5時間以上～6時間未満」(18.0%)、次いで「6時間以上～7時間未満」(14.2%)となっています。



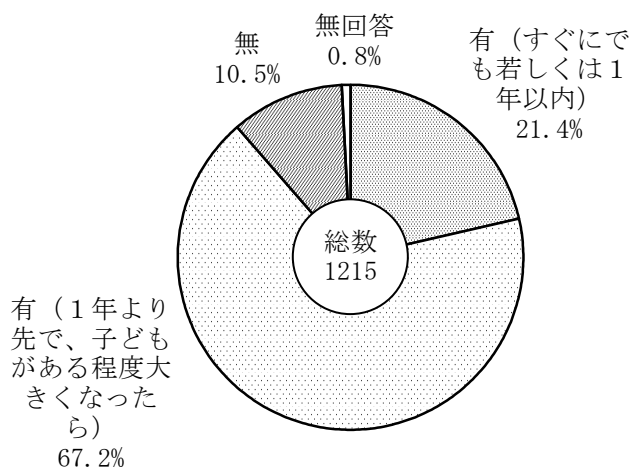
⑤パートタイム、アルバイト等で就労している母親の転換希望

パートタイム、アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望については、「希望がある」(32.5%)が最も多く、次いで「希望があるが予定はない」(28.7%)、「希望はない」(25.9%)となっています。



(2) 母親の就労希望

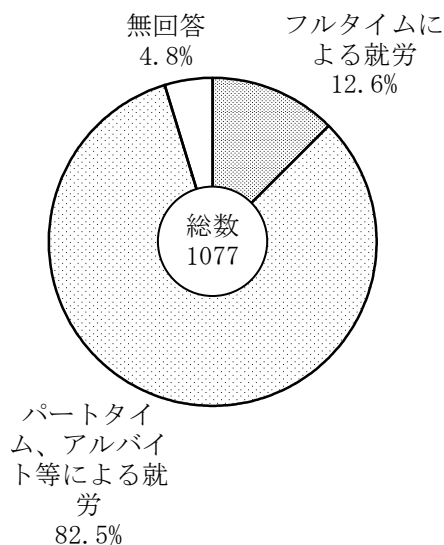
(1)の「B 母親」の①で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を回答した方で、就労希望があるかについては、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」(67.2%)が最も多く、次いで「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」(21.4%)、「無」(10.5%)となっています。



(3) 母親の希望する就労形態

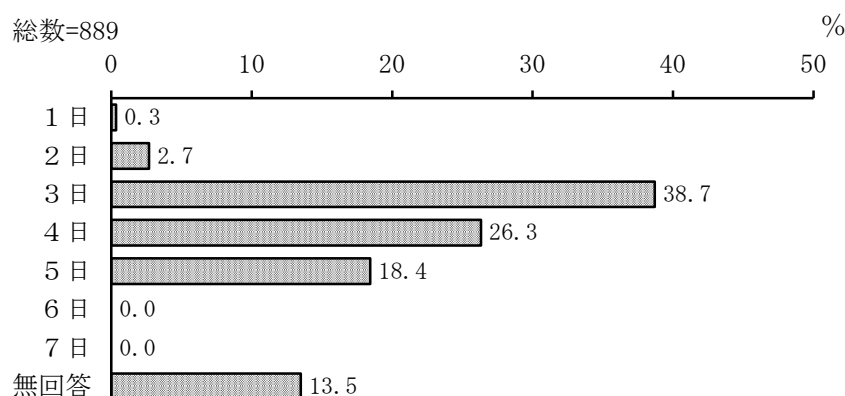
①母親の希望する就労形態

(2) で「有 (すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」または「有 (1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」と回答した方で、希望する就労形態はどのようなものかについては、「パートタイム、アルバイト等による就労」(82.5%)、「フルタイムによる就労」(12.6%)となっています。



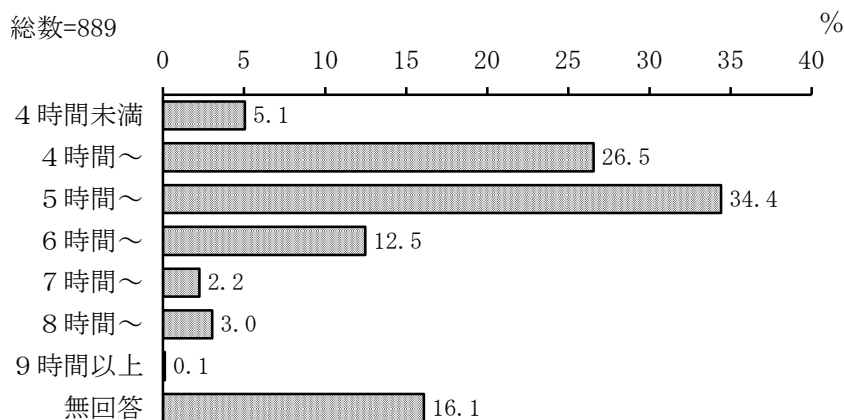
②パートタイム、アルバイト等の1週当たりの希望就労日数

①で「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する方の1週当たりの希望就労日数については、「3日」(38.7%)が最も多く、次いで「4日」(26.3%)、「5日」(18.4%)となっています。



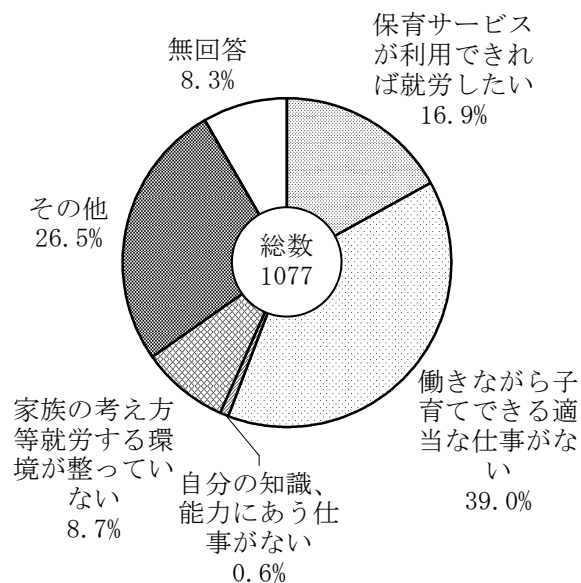
③パートタイム、アルバイト等の1日当たりの希望就労時間

①で「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する方の1日当たりの希望就労時間については、「5時間以上～6時間未満」(34.4%)が最も多く、次いで「4時間以上～5時間未満」(26.5%)、「6時間以上～7時間未満」(12.5%)となっています。



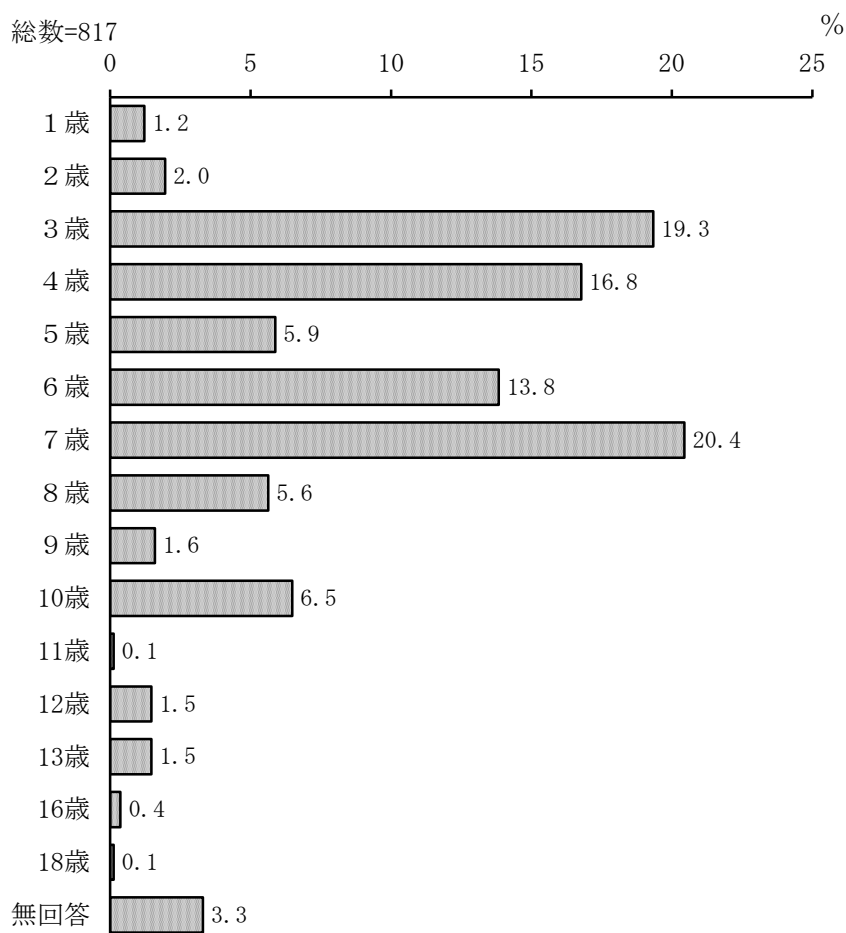
(4) 現在働いていない理由

(2)で「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」または「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」と回答した方で、就労希望がありながら、現在働いていない理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(39.0%)、次いで「保育サービスが利用できれば就労したい」(16.9%)、「家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない」(8.7%)となっています。



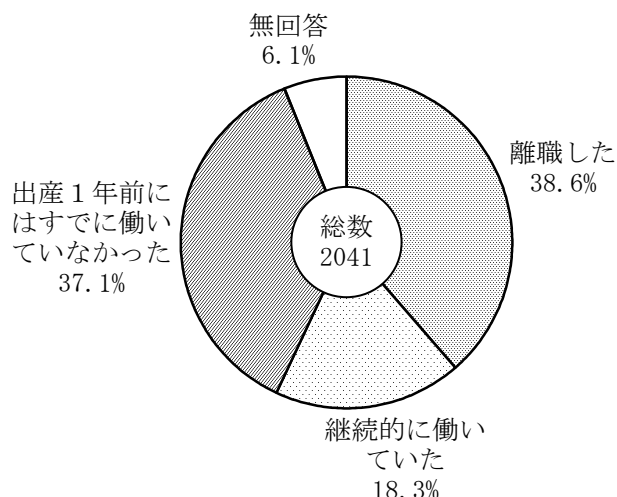
(5) 就労を希望するときの末子の年齢

(2)で「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」と回答した方で、一番小さい子が何歳になったときに就労を希望するかについては、「7歳」(20.4%)が最も多く、次いで「3歳」(19.3%)、「4歳」(16.8%)が多くなっています。



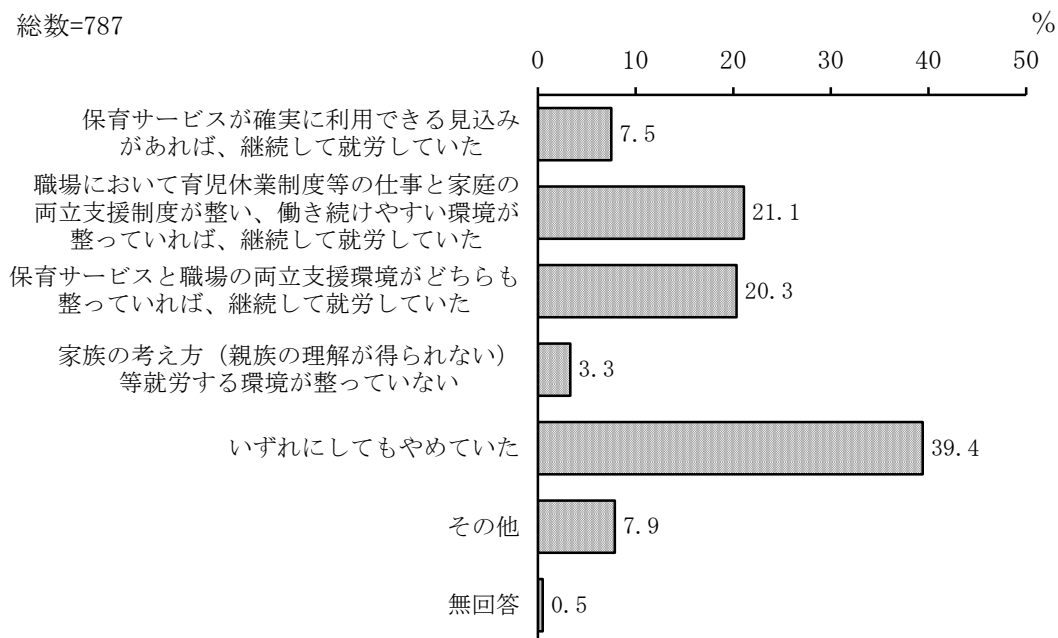
(6) 出産前後の離職状況

子どもの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしたかについては、「離職した」（38.6%）が最も多く、次いで「出産1年前にすでに働いていなかった」（37.1%）、「継続的に働いていた」（18.3%）となっています。



(7) 就労の継続意向

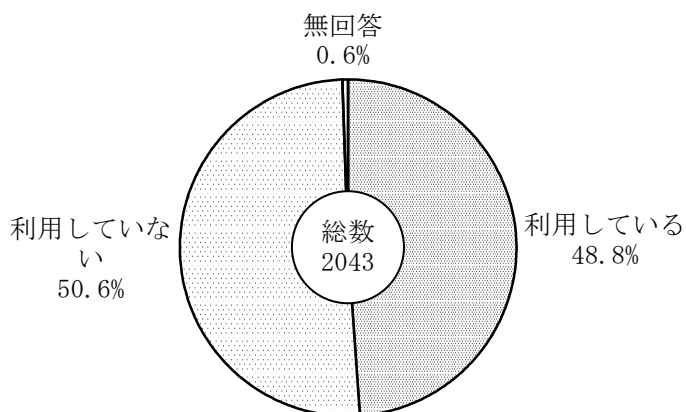
(6)で「離職した」と回答した方で、仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したかについては、「いずれにしてもやめていた」（39.4%）が最も多く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」（21.1%）、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」（20.3%）となっています。



3 保育サービスの利用について

(1) 保育サービスの利用の有無

子どもの現在の保育サービスの利用の有無について、日頃、定期的子どもを預けるサービスを利用しているかについては、「利用している」(48.8%)、「利用していない」(50.6%)となっています。



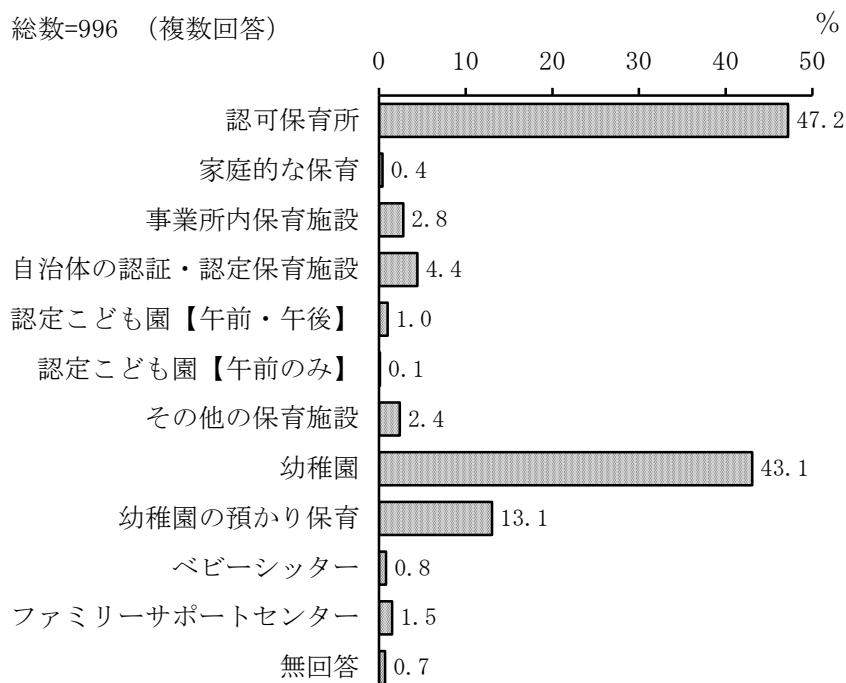
子どもの年齢との関係で見ると、「利用している」という回答が、3歳から5歳では7割台となっています。

【保育サービスの利用の有無と子どもの年齢】

		全体	利用している	利用していない	無回答
全体		2043 100.0	996 48.8	1034 50.6	13 0.6
子どもの年齢	0歳	372 100.0	50 13.4	318 85.5	4 1.1
	1歳	346 100.0	101 29.2	244 70.5	1 0.3
	2歳	342 100.0	127 37.1	211 61.7	4 1.2
	3歳	332 100.0	241 72.6	89 26.8	2 0.6
	4歳	300 100.0	227 75.7	73 24.3	- -
	5歳	330 100.0	240 72.7	89 27.0	1 0.3
	無回答	21 100.0	10 47.6	10 47.6	1 4.8

(2) 利用している子育て支援サービス

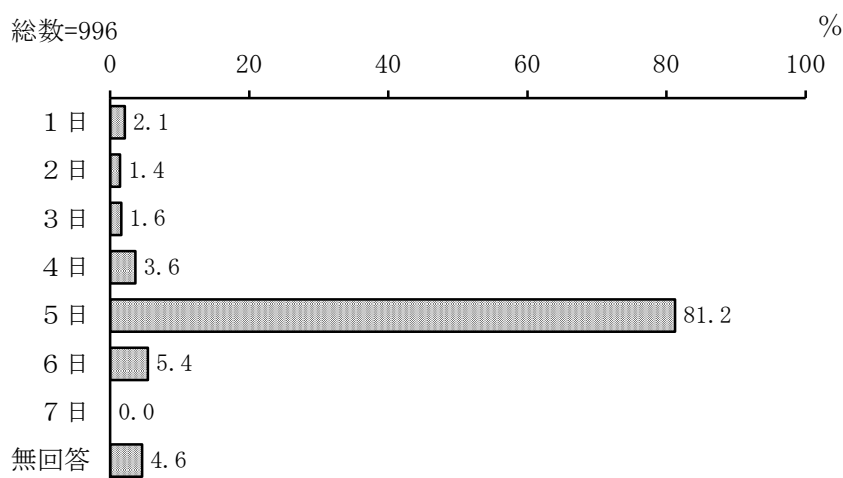
(1) で「利用している」と回答した方で、子どもは、現在、どのような子育て支援サービスを利用しているかについては、「認可保育所」(47.2%) が最も多く、次いで「幼稚園」(43.1%)、「幼稚園の預かり保育」(13.1%) となっています。



(3) 保育サービスの利用状況

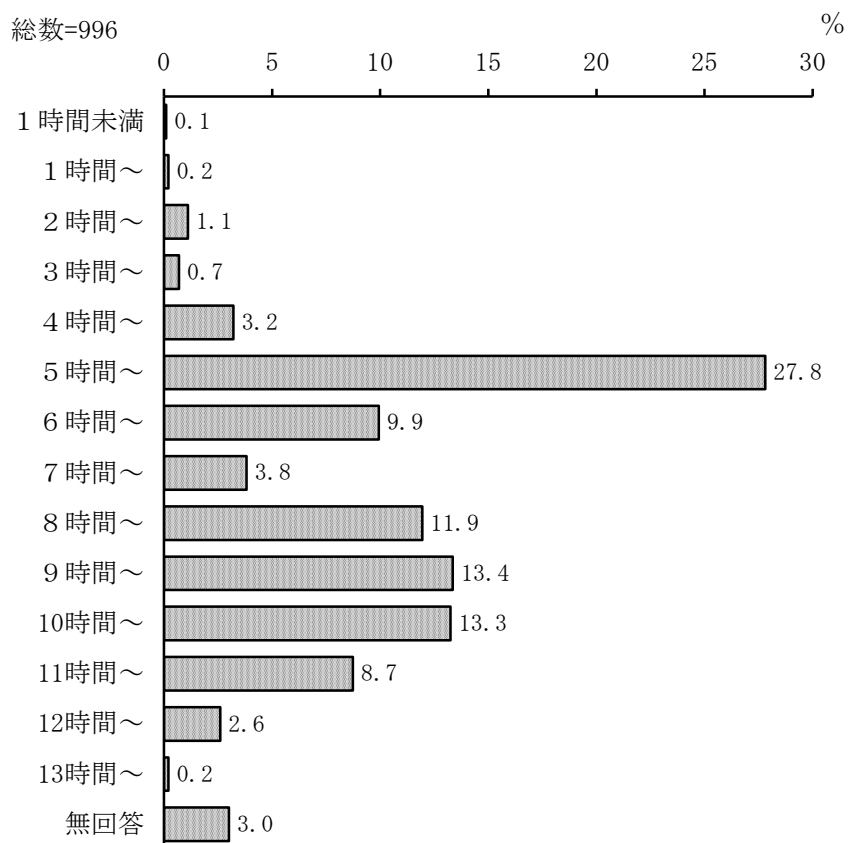
① 1週当たりの保育サービスの利用状況

(1) で「利用している」と回答した方で、1週あたりの利用状況については、「5日」(81.2%) が最も多く、次いで「6日」(5.4%)、「4日」(3.6%) となっています。



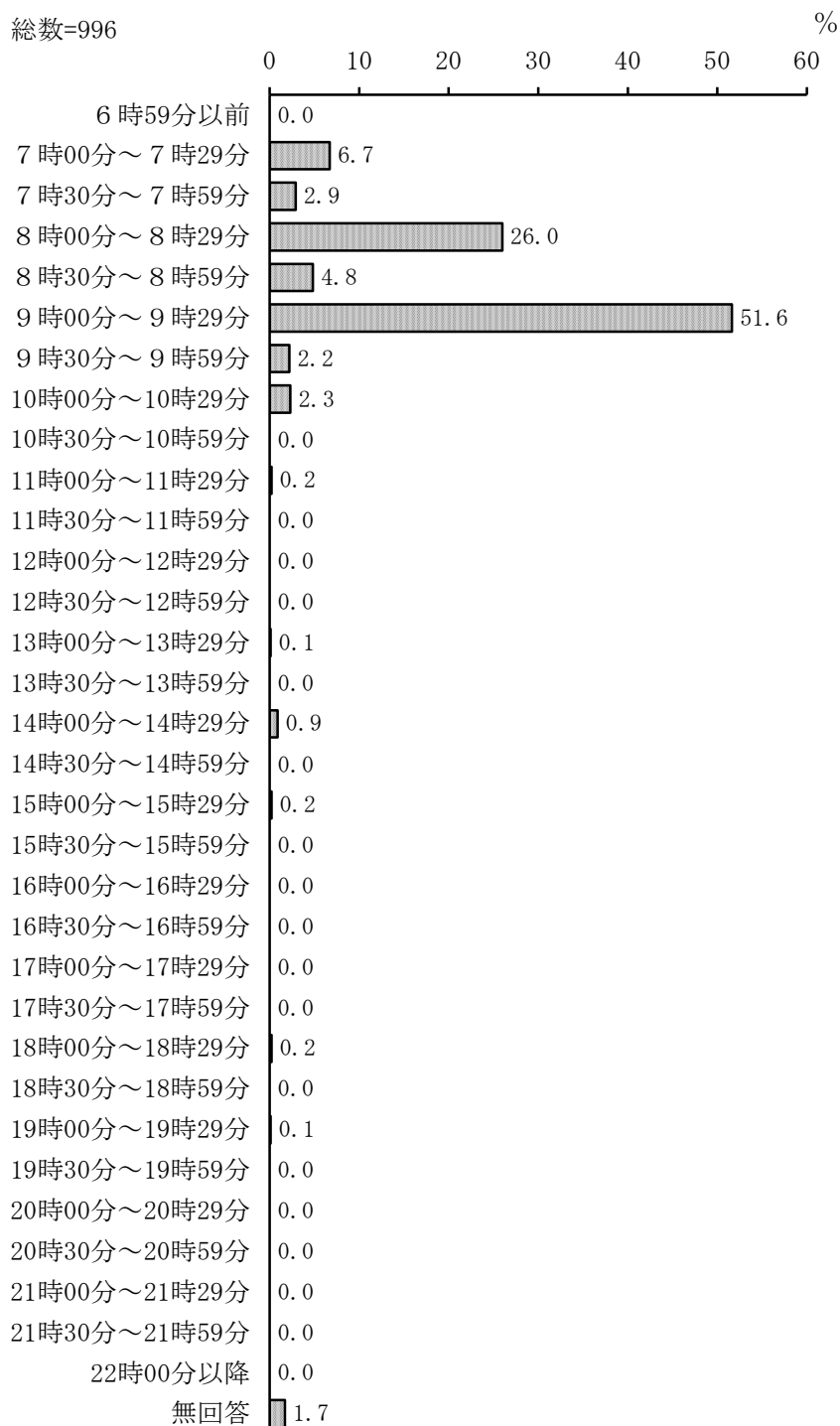
② 1日あたりの保育サービスの利用状況

(1) で「利用している」と回答した方で、1日あたりの利用状況については、「5時間以上～6時間未満」(27.8%)が最も多く、次いで「9時間以上～10時間未満」と「10時間以上～11時間未満」(13.4%)となっています。



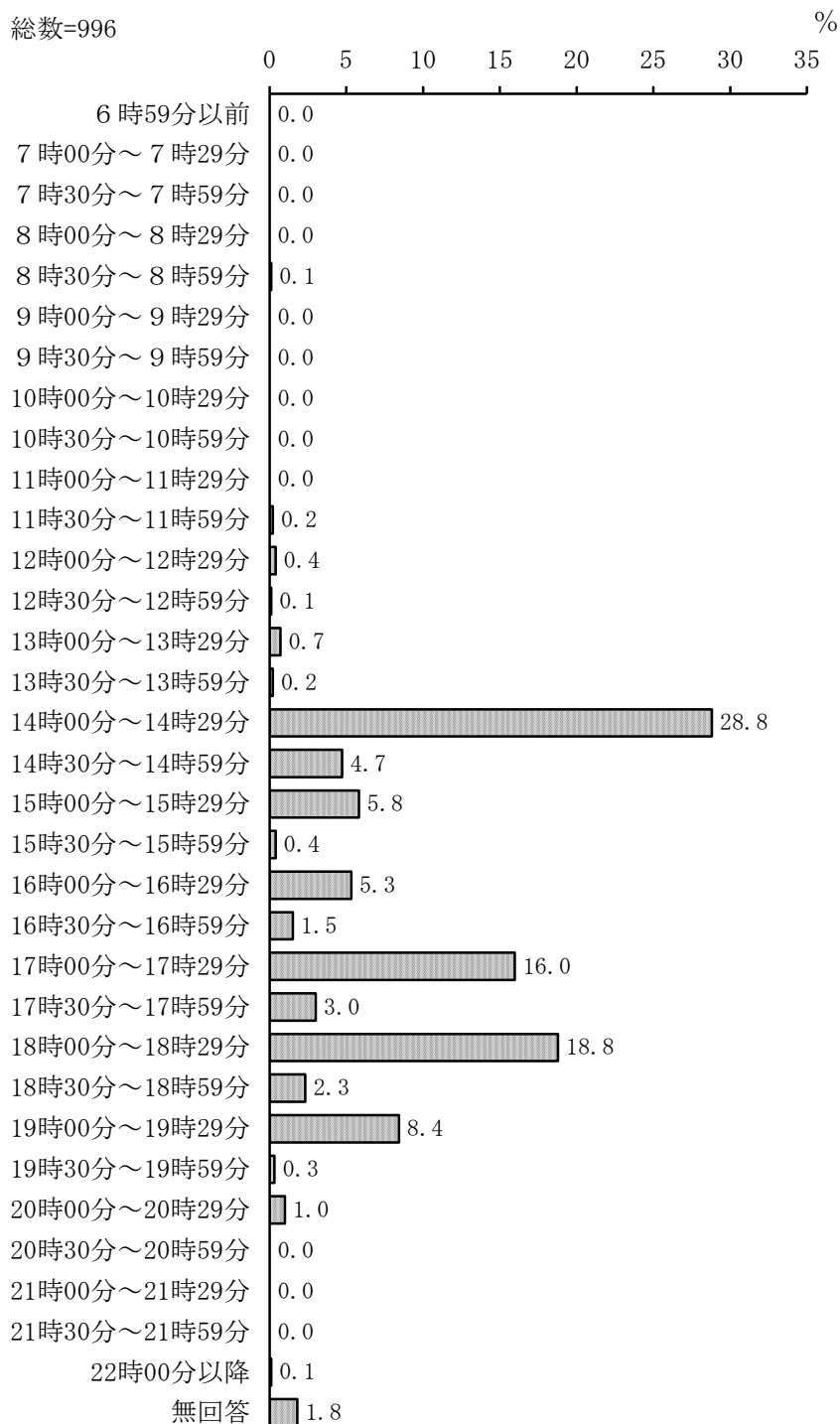
③保育サービスの利用開始時刻

(1) で「利用している」と回答した方で、保育サービスの利用開始時刻については、「9時00分～9時29分」(51.6%)が最も多く、次いで「8時00分～8時29分」(26.6%)、「7時00分～7時29分」(6.7%)となっています。



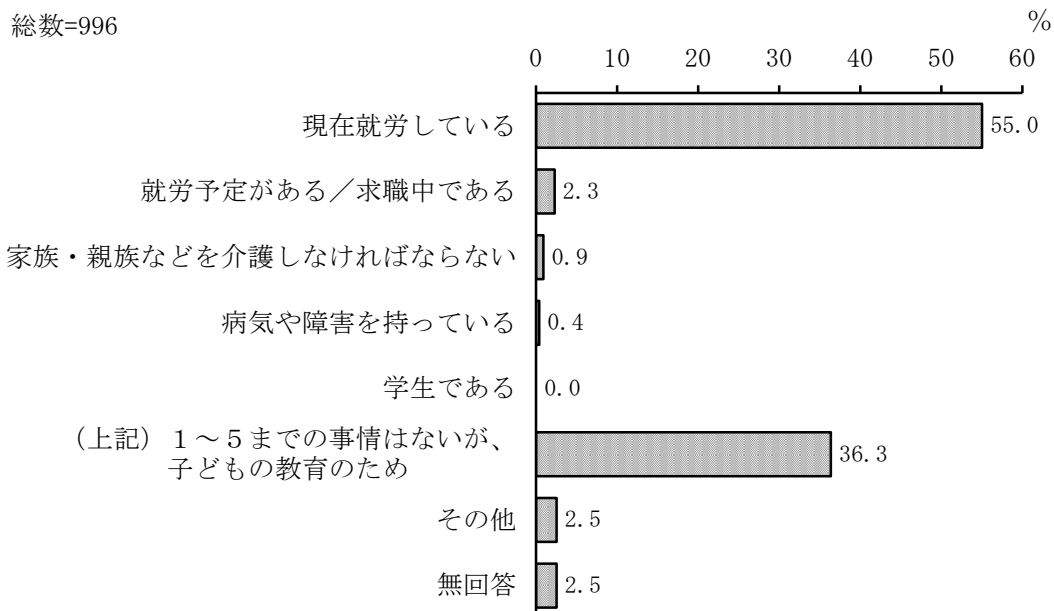
④保育サービスの利用終了時刻

(1) で「利用している」と回答した方で、保育サービスの利用終了時刻については、「14時00分～14時29分」(28.8%)が最も多く、次いで「18時00分～18時29分」(18.8%)、「17時00分～17時29分」(16.0%)となっています。



(4) 保育サービスを利用している理由

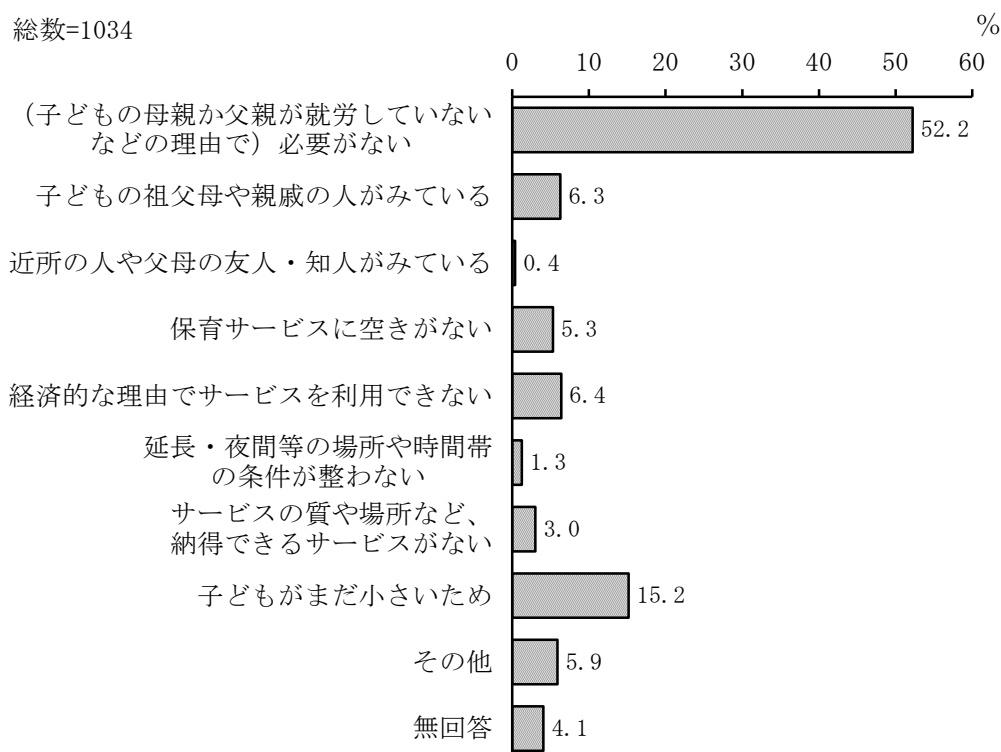
(1) で「利用している」と回答した方で、利用している理由については、子どもの身の回りの世話をしている方が、「現在就労している」(55.0%)が最も多く、次いで「1～5までの事情はないが、子どもの教育のため」(36.3%)が多くなっています。



(5) 保育サービスを利用していない理由

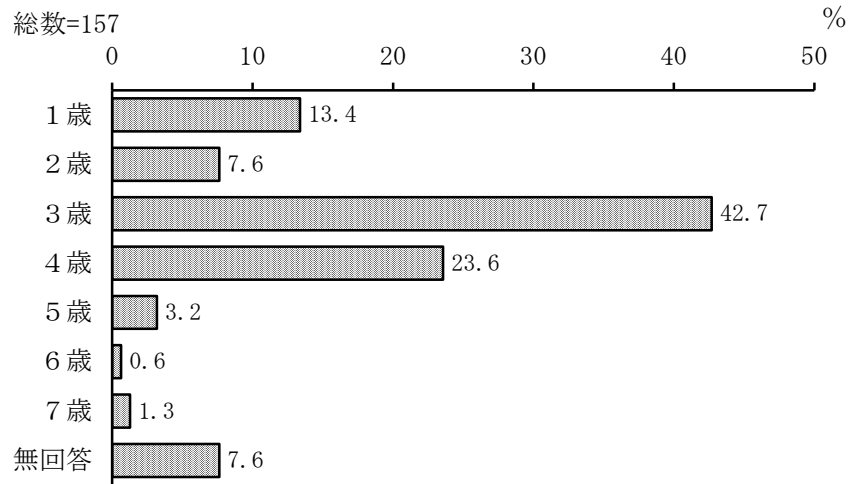
①保育サービスを利用していない理由

(1) で「利用していない」と回答した方で、保育サービスを利用していない理由については、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」(52.2%)が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」(15.2%)となっています。



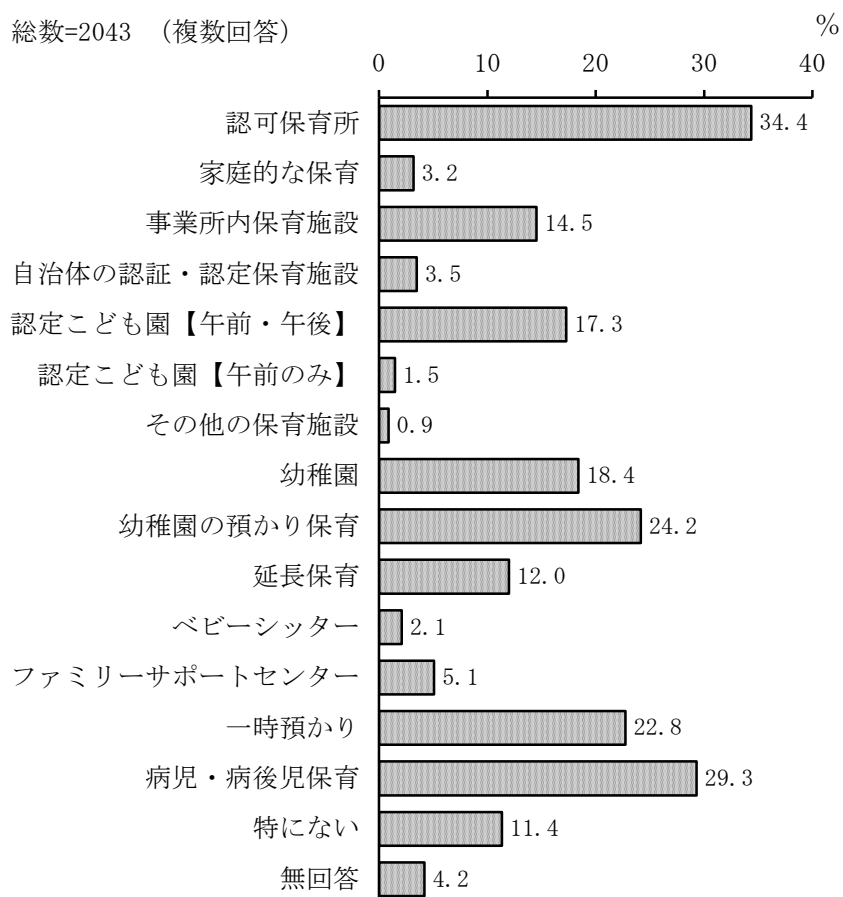
②子どもを預けようと考えている年齢

①で「子どもがまだ小さいため」と回答した方で、何歳くらいになったら預けようと考えているかについては、「3歳」（42.7%）が最も多く、次いで「4歳」（23.6%）、「1歳」（13.4%）となっています。



(6) 今後の保育サービスの利用意向

封筒の宛名の子どもに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が) 足りていないと思う保育サービスについては、「認可保育所」(34.4%) が最も多く、次いで「病児・病後児保育」(29.3%)、「幼稚園の預かり保育」(24.2%) となっています。



母親の就労状況との関係で見ると、「認可保育所」という回答は、「就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）」では 76.2%と、他の就労状況と比較して多くなっています。また、「病時・病後児保育」という回答は、「就労している（フルタイム）」では 50.0%、「就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）」46.4%と、他の就労状況と比較して多くなっています。

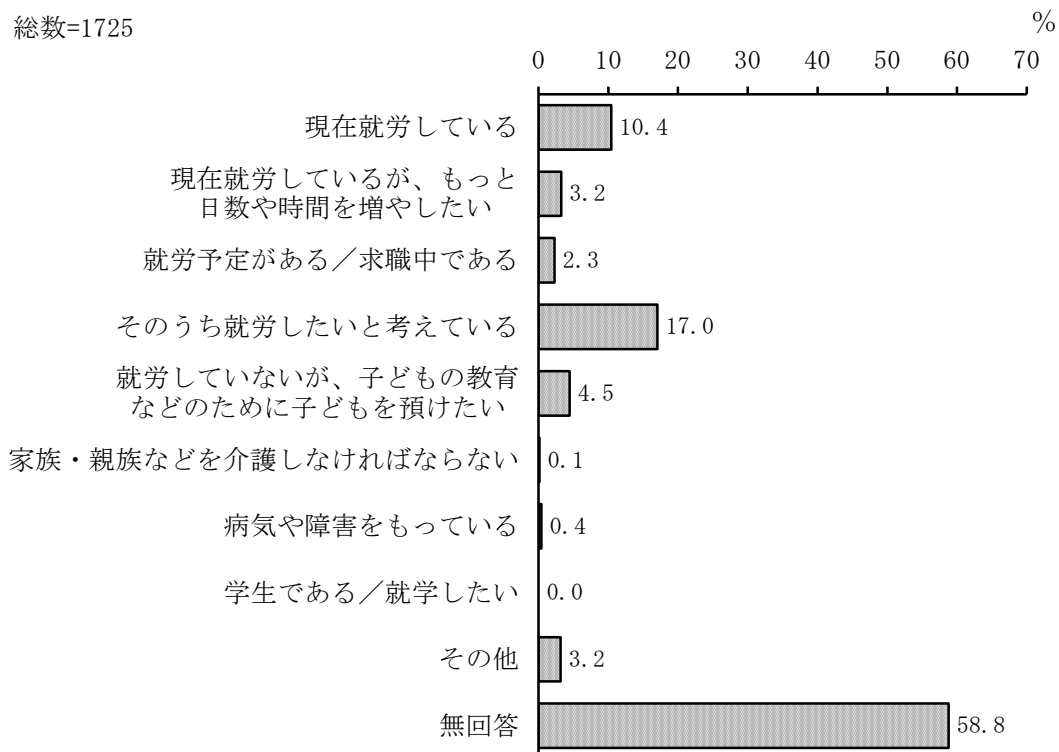
【今後の保育サービスの利用意向と母親の就労状況】

	全体	認可保育所	家庭的な保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	【午前・午後】認定こども園	【認定こども園（午前のみ）】	その他の保育施設	幼稚園	幼稚園の預かり保育	延長保育	ベビーシッター	
全体	2041 100.0	702 34.4	65 3.2	297 14.6	71 3.5	353 17.3	30 1.5	18 0.9	376 18.4	494 24.2	245 12.0	43 2.1	
母親の就労状況	就労している（フルタイム）	310 100.0	91 29.4	10 3.2	26 8.4	5 1.6	36 11.6	2 0.6	4 1.3	12 3.9	25 8.1	50 16.1	8 2.6
	就労している（育休・介護休業中）	84 100.0	64 76.2	6 7.1	15 17.9	8 9.5	16 19.0	1 1.2	1 1.2	7 8.3	10 11.9	24 28.6	6 7.1
	就労している（パートタイム、アルバイト等）	394 100.0	118 29.9	11 2.8	29 7.4	6 1.5	53 13.5	2 0.5	6 1.5	36 9.1	76 19.3	41 10.4	5 1.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1131 100.0	397 35.1	34 3.0	214 18.9	49 4.3	226 20.0	22 1.9	4 0.4	292 25.8	350 30.9	118 10.4	19 1.7
	これまでに就労したことがない	84 100.0	20 23.8	1 1.2	7 8.3	-	14 16.7	1 1.2	2 2.4	22 26.2	24 28.6	4 4.8	2 2.4
	その他	15 100.0	3 20.0	2 13.3	4 26.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7	1 6.7	4 26.7	5 33.3	5 33.3	2 13.3
	無回答	23 100.0	9 39.1	1 4.3	2 8.7	2 8.7	6 26.1	1 4.3	-	3 13.0	4 17.4	3 13.0	1 4.3

	ファミリーサポーター	一時預かり	病児・病後児保育	特にない	無回答	
全体	104 5.1	465 22.8	599 29.3	232 11.4	84 4.1	
母親の就労状況	就労している（フルタイム）	18 5.8	44 14.2	155 50.0	36 11.6	28 9.0
	就労している（育休・介護休業中）	13 15.5	22 26.2	39 46.4	3 3.6	1 1.2
	就労している（パートタイム、アルバイト等）	20 5.1	90 22.8	131 33.2	56 14.2	30 7.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	45 4.0	286 25.3	252 22.3	120 10.6	23 2.0
	これまでに就労したことがない	5 6.0	13 15.5	10 11.9	14 16.7	-
	その他	2 13.3	9 60.0	8 53.3	1 6.7	-
	無回答	1 4.3	1 4.3	4 17.4	2 8.7	2 8.7

(7) 今後、保育サービスを利用したい理由

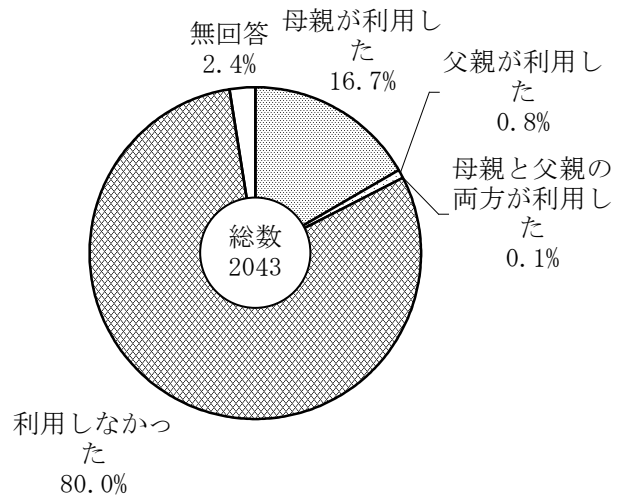
(6) で「特になし」以外を回答した方で、サービスを利用したいと考えている理由については、子どもの身の回りの世話を主にしている方が「そのうち就労したいと考えている」(17.0%)が最も多く、次いで「現在就労している」(10.4%)となっています。



4 育児休業制度の利用について

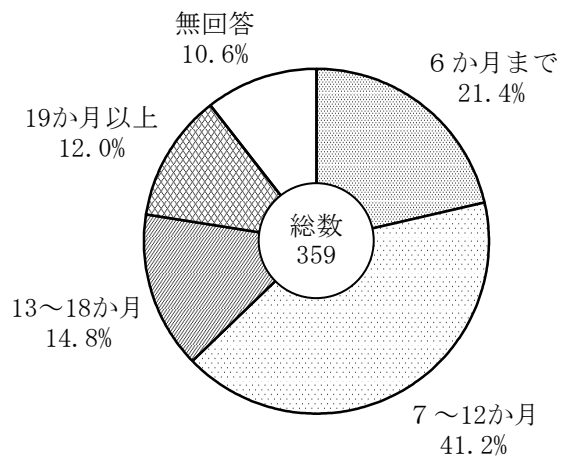
(1) 育児休業制度の利用状況

封筒の宛名の子どもについて、母親又は父親が育児休業制度を利用したかは、「利用しなかった」(80.0%)が最も多く、次いで「母親が利用した」(16.7%)となっています。



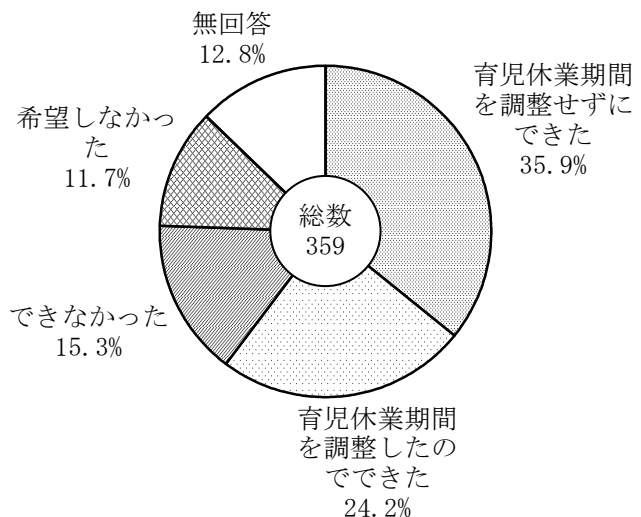
(2) 育児休業から復帰したときの子どもの月齢

(1)で母親又は父親が育児休業を取得したと回答した方で、育児休業から復帰したときの子どもの月齢については、「7～12か月」(41.2%)が最も多く、次いで「6か月まで」(21.4%)、「13～18か月」(14.8%)となっています。



(3) 育児休業明けの保育サービスの利用状況

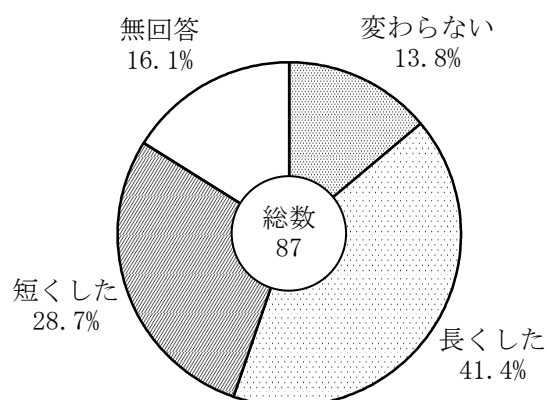
(1)で母親又は父親が育児休業を取得したと回答した方で、育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたかについては、「育児休業期間を調整せずにできた」(35.9%)が最も多く、次いで「育児休業期間を調整したのでできた」(24.2%)、「できなかった」(15.3%)となっています。



(4) 保育サービスが確実に利用できた場合の育児休業の取得期間

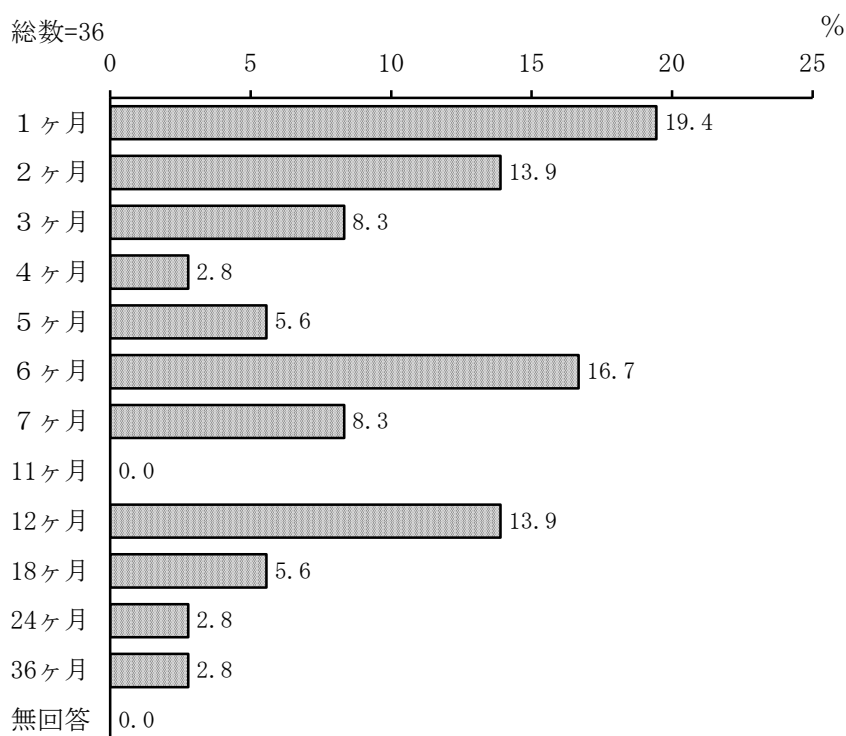
①保育サービスが確実に利用できた場合の育児休業の取得期間

(3)で「育児休業期間を調整したの
でできた」と回答した方で、育児休業明
けに希望する保育サービスが確実に利
用できたとしたら、育児休業は実際に取
得した期間と変わったかについては、
「長くした」(41.1%)が最も多く、次
いで「短くした」(28.7%)、「変わらない
」(13.8%)となっています。



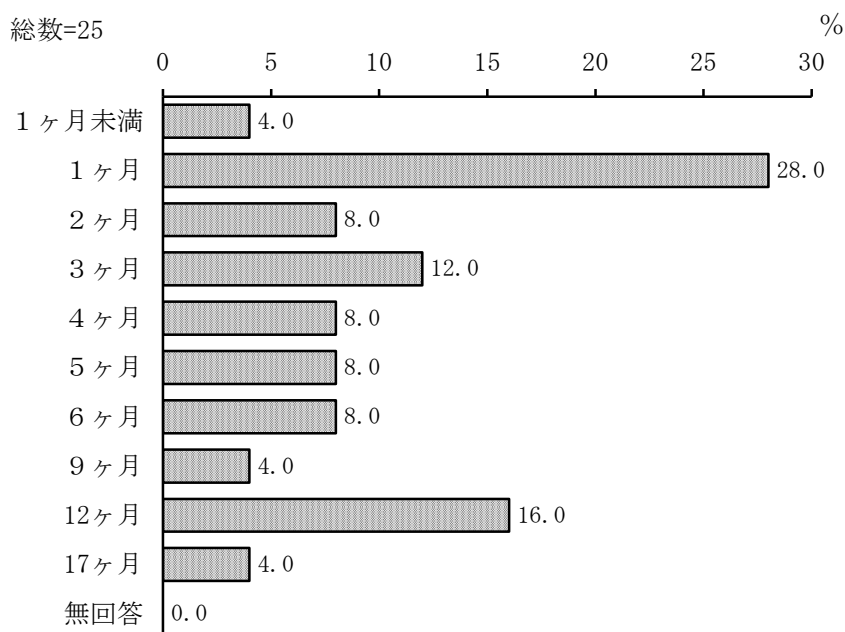
②育児休業の取得期間を長くした場合の延長期間

①で育児休業の取得期間を「長くした」と回答した方の延長期間については、「1ヶ月」
(19.4%)が最も多く、次いで「6ヶ月」(16.7%)、「2ヶ月」と「12ヶ月」(13.9%)と
なっています。



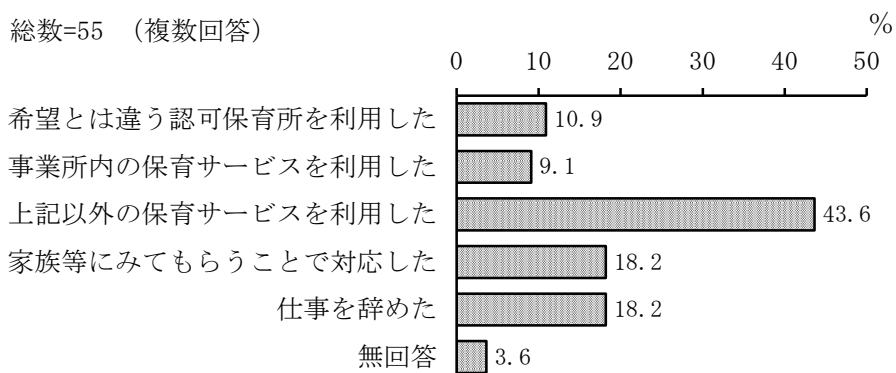
③育児休業の取得期間を長くした場合の短縮期間

①で育児休業の取得期間を「短くした」と回答した方の短縮期間については、「1ヶ月」(28.0%)が最も多く、次いで「12ヶ月」(16.0%)、「3ヶ月」(12.0%)となっています。



(5) 希望する保育サービスを利用できなかった場合の対応

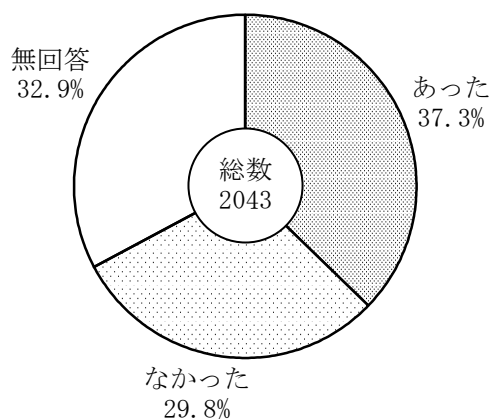
(3)で「できなかった」と回答した方で、どのように対応したかについては、「上記以外の保育サービスを利用した」(43.6%)が最も多く、次いで「家族等にみてもらうことで対応した」と「仕事を辞めた」(18.2%)となっています。



5 病児・病後児保育について

(1) 病気やケガで保育サービスが利用できなかったこと

保育サービスを利用している保護者の方で、この1年間に、宛名の子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことについては、「あった」(37.3%)、「なかった」(29.8%)となっています。

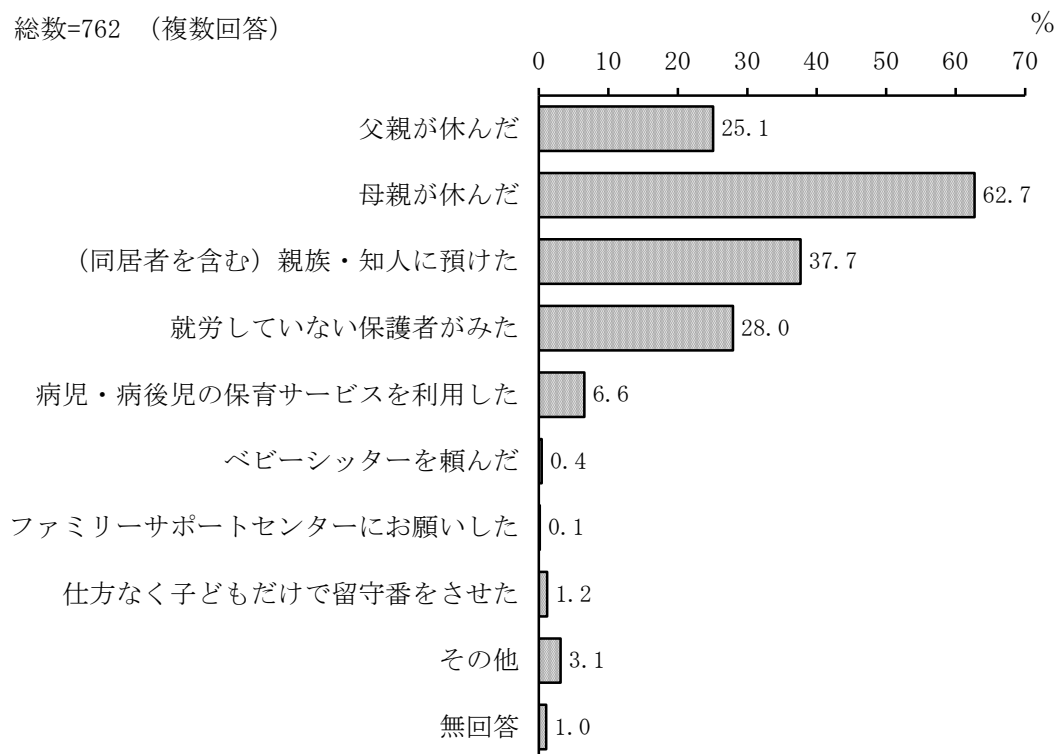


(2) 病気やケガで保育サービスを利用できなかった場合の対処方法

① 病気やケガで保育サービスを利用できなかった場合の対処方法

(1)で「あった」と回答した方で、この1年間の、子どもが病気で通常の保育サービスが使用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」(62.7%)が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(37.7%)、「就労していない保護者がみた」(28.0%)となっています。

総数=762 (複数回答)



②病気やケガで保育サービスを利用できなかった場合の対処方法別日数

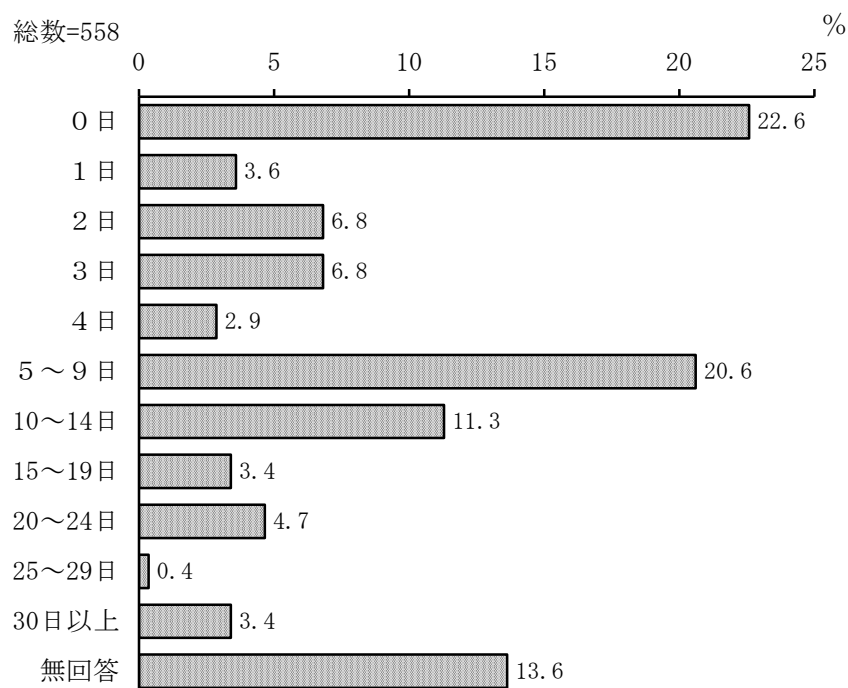
子どもが病気で通常の保育サービスが使用できなかった場合の対処方法別日数については、「父親が休んだ」では1～3日という回答を合わせると過半数を占め、5～9日も26.2%と多くなっています。

「母親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」「就労していない保護者がみた」では、5～9日と10～14日という回答が2割強から3割強と多くなっています。

	全体	1日	2日	3日	4日	5 ～ 9日	10 ～ 14日	15 ～ 19日	20 ～ 24日	25 ～ 29日	30日 以上	無回答
父親が休んだ	191 100.0	32 16.8	34 17.8	39 20.4	3 1.6	50 26.2	22 11.5	3 1.6	4 2.1	1 0.5	-	3 1.6
母親が休んだ	478 100.0	24 5.0	52 10.9	67 14.0	13 2.7	118 24.7	106 22.2	27 5.6	35 7.3	4 0.8	27 5.6	5 1.0
親族・知人に預けた	287 100.0	28 9.8	44 15.3	38 13.2	12 4.2	62 21.6	61 21.3	13 4.5	11 3.8	2 0.7	11 3.8	5 1.7
就労していない 保護者がみた	213 100.0	6 2.8	14 6.6	22 10.3	10 4.7	69 32.4	54 25.4	12 5.6	11 5.2	1 0.5	7 3.3	7 3.3
病児・病後児の保育 サービスを利用した	50 100.0	8 16.0	13 26.0	10 20.0	2 4.0	7 14.0	8 16.0	-	1 2.0	-	1 2.0	-
ベビーシッター を頼んだ	3 100.0	1 33.3	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	-
ファミリーサポートセ ンターにお願いした	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	9 100.0	2 22.2	1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2	1 11.1	-	-	-	-	-
その他	24 100.0	1 4.2	2 8.3	-	3 12.5	8 33.3	3 12.5	-	2 8.3	-	1 4.2	4 16.7

(3) 施設等に預けたかった日数

(2) で「父親が休んだ」「母親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」と回答した方で、その際、できれば施設に預けたいと思った日数については、「0日」(22.6%)が最も多く、次いで「5～9日」(20.6%)、「10～14日」(11.3%)となっています。

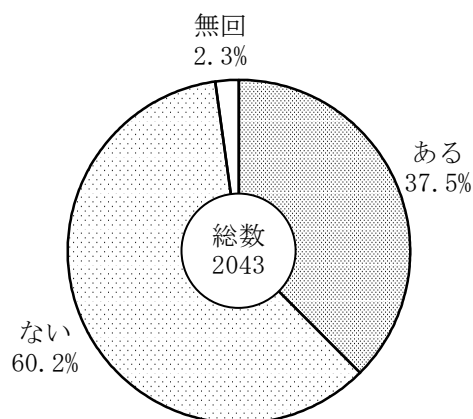


6 一時預かりについて

(1) 子どもを家族以外に一時的に預けたこと

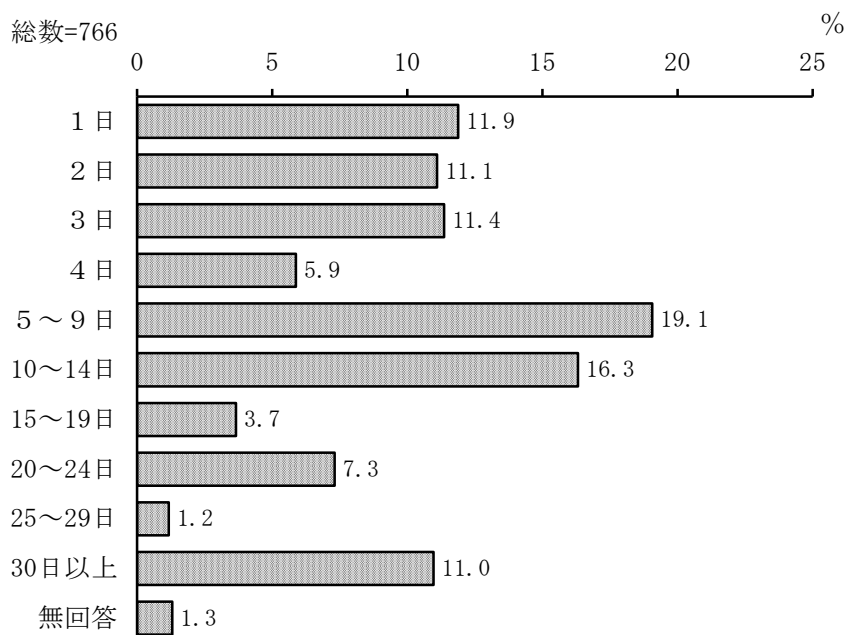
①子どもを家族以外に一時的に預けたこと

この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことについては、「ない」（60.2%）、「ある」（37.5%）となっています。



②子どもを家族以外に一時的に預けた日数（全体）

この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた日数については、「5～9日」（19.1%）が最も多く、次いで「10～14日」（16.3%）、「1日」（11.9%）となっています。



③子どもを家族以外に一時的に預けた日数（理由別）

この1年間で、子どもを家族以外に一時的に預けた理由別日数については、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」では1～3日という回答を合わせると3割となっています。また、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」では1日という回答が13.3%と最も多く、「就労」では30日以上という回答が5.1%と多くなっています。

	全体	1日	2日	3日	4日	5 ～ 9日	10 ～ 14日	15 ～ 19日	20 ～ 24日	25 ～ 29日	30日以上	無回答
私用、リフレッシュ目的	766 100.0	77 10.1	87 11.4	68 8.9	30 3.9	116 15.1	77 10.1	24 3.1	27 3.5	8 1.0	27 3.5	225 29.4
冠婚葬祭、子どもの親の病気	766 100.0	102 13.3	51 6.7	44 5.7	14 1.8	62 8.1	19 2.5	3 0.4	3 0.4	2 0.3	3 0.4	463 60.4
就労	766 100.0	22 2.9	27 3.5	21 2.7	6 0.8	36 4.7	19 2.5	8 1.0	11 1.4	1 0.1	39 5.1	576 75.2

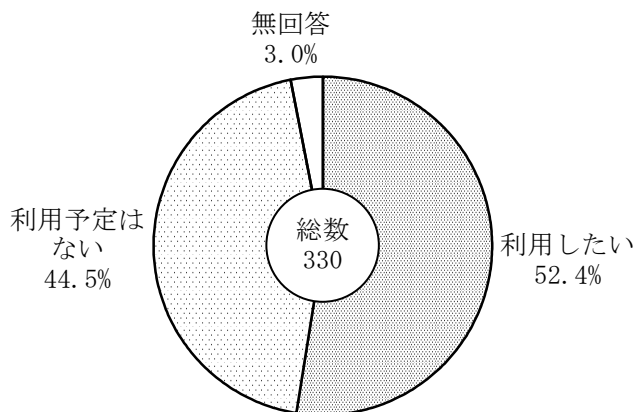
7 小学校入学以降の放課後の過ごし方について

(1) 小学校入学以降の放課後児童クラブの利用意向

【来年度就学予定の子どもを持つ保護者の方に伺いました】

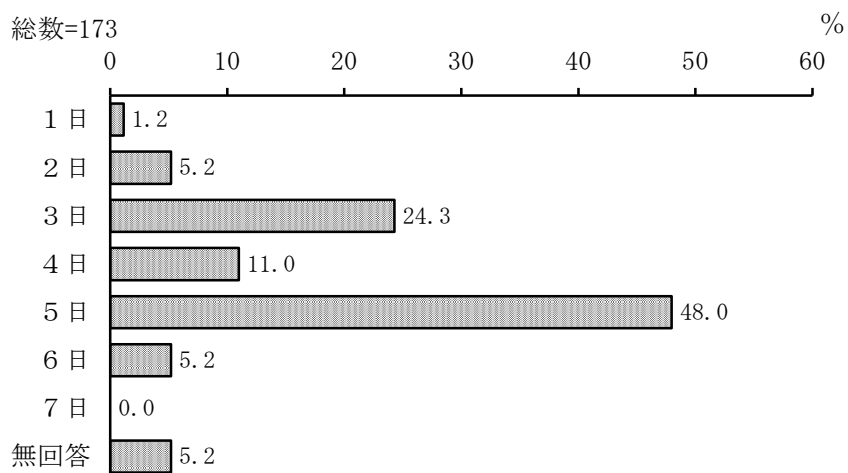
①小学校入学以降の放課後児童クラブの利用意向

来年度就学予定の子どもを持つ保護者の方が、封筒の宛名の子どもの小学校入学以降の放課後の過ごし方として、放課後児童クラブを利用したいかについては、「利用したい」(52.4%)、「利用予定はない」(44.5%)となっています。



②放課後児童クラブを利用したい日数(1週当たり)

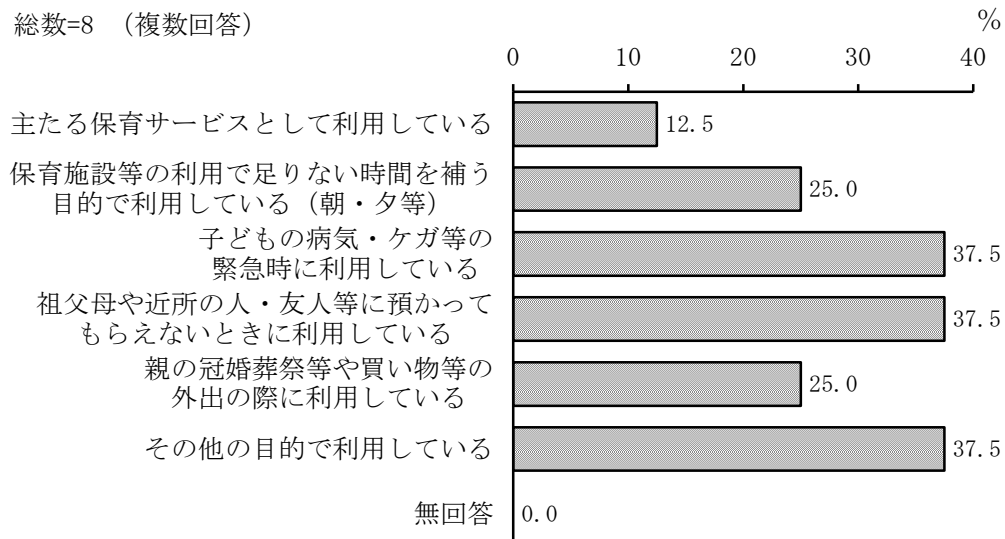
放課後児童クラブを利用したい1週当たりの日数については、「5日」(48.0%)が最も多く、次いで「3日」(24.3%)、「4日」(11.0%)となっています。



8 ベビーシッターの利用について

(1) ベビーシッターの利用目的

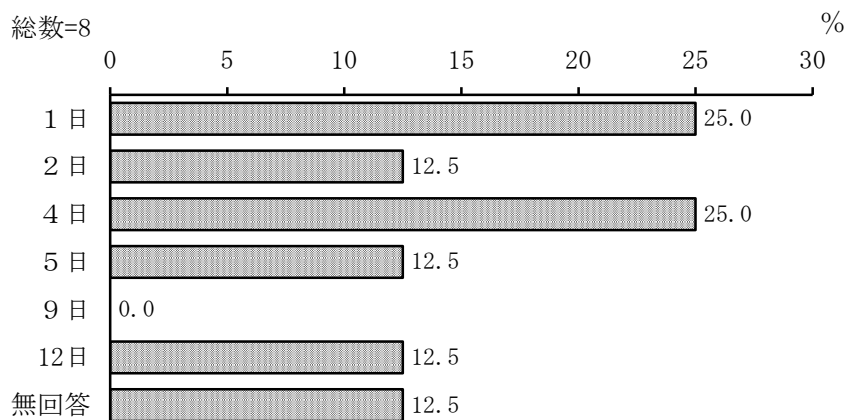
ベビーシッターを利用している方がどのような目的で利用しているかについては、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」と「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」と「その他の目的で利用している」(37.5%)が多くなっています。



(2) ベビーシッターの利用頻度

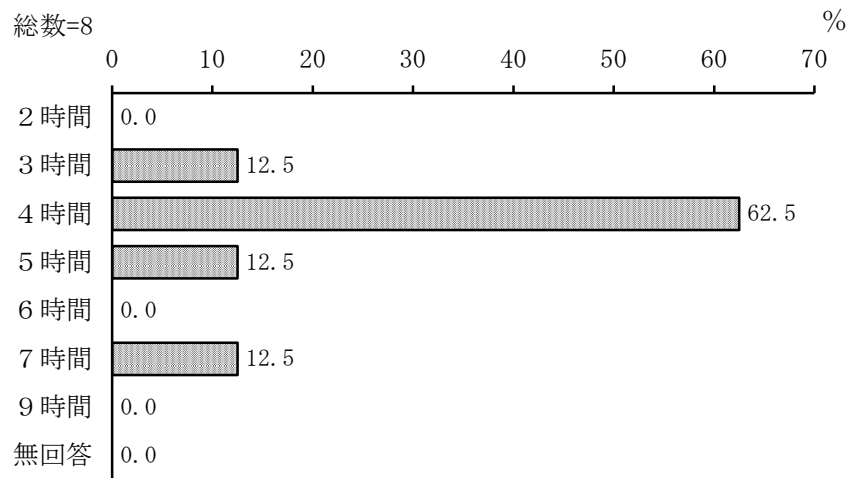
①ベビーシッターの利用日数 (1ヶ月当たり)

1ヶ月当たりのベビーシッターの利用日数については、「1日」と「4日」(25.0%)が多くなっています。



②ベビーシッターの利用時間（1回当たり）

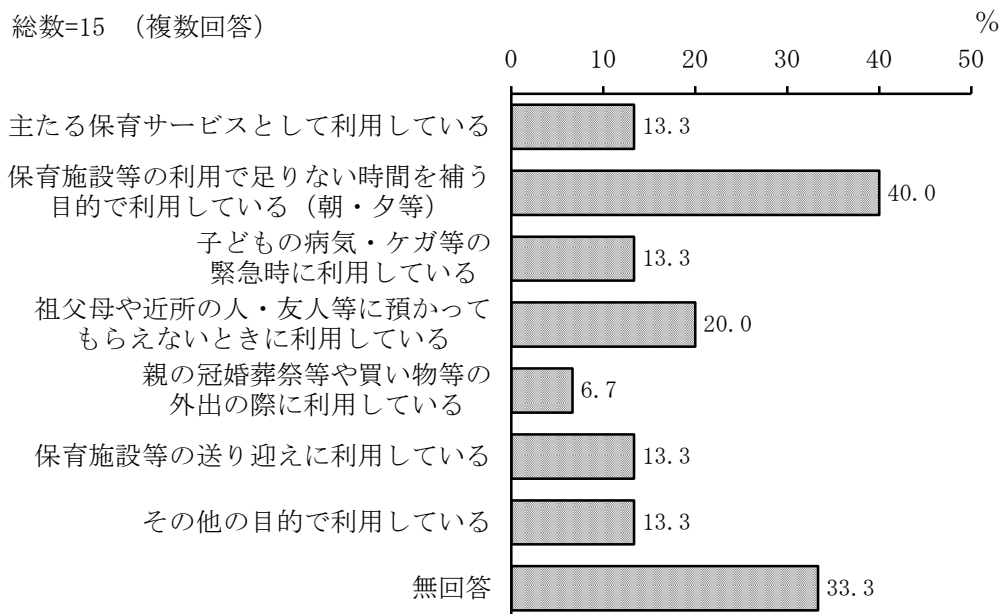
1回当たりのベビーシッターの利用時間については、「4時間」（62.5%）が最も多く、次いで「3時間」と「4時間」と「7時間」（12.5%）となっています。



9 ファミリーサポートセンターの利用について

(1) ファミリーサポートセンターの利用目的

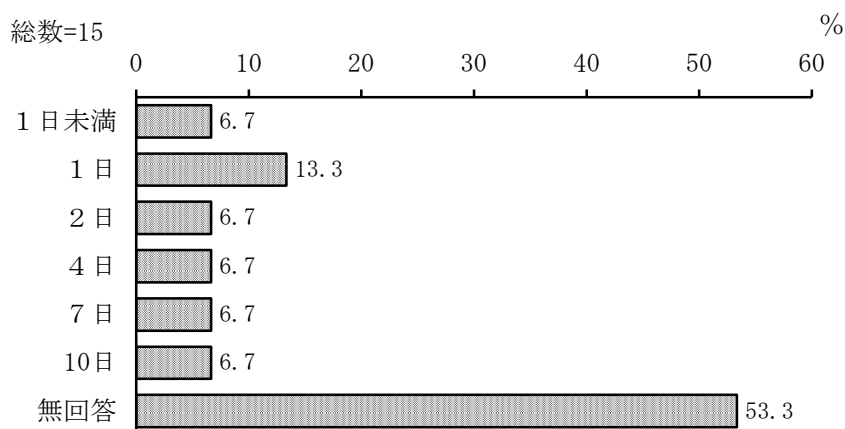
ファミリーサポートセンターを利用している方がどのような目的で利用しているかについては、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)」(40.0%)が最も多く、次いで「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」(20.0%)となっています。



(2) ファミリーサポートセンターの利用頻度

①ファミリーサポートセンターの利用日数 (1ヶ月当たり)

1ヶ月当たりのファミリーサポートセンターの利用日数については、「1日」(13.3%)が多くなっています。



②ファミリーサポートセンターの利用時間（1回当たり）

1回当たりのファミリーサポートセンターの利用時間については、「1時間」（20.0%）が最も多く、次いで「2時間」と「3時間」（13.3%）となっています。

